

第4回

パッケージイノベーションセミナー — ヒット商品を生み出す発想と取り組み —

開催日：平成26年3月7日（金）

会場：ソラシティカンファレンスセンター Room C

主催：公益社団法人日本包装技術協会

■開催にあたって

現在、パッケージを商品の魅力の一つとして取り上げる商品が多く目につくようになりました。今こそ、パッケージの重要性・魅力的な機能をアピールするチャンスであるといえるのではないのでしょうか。

当会では、新しい包装の価値を創出するような情報の紹介を中心として、デザイン、販売戦略、分析情報、環境対応事例、感性工学・認知工学、消費者へのPR等、様々な分野からのテーマで構成する「パッケージイノベーションセミナー」を開催しております。技術面だけでなく異分野を含めた多くの方からの話を聴き、従来の常識を打ち破る新しい発想の包装を考えるヒントとなればと考えます。

どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

プログラム

時間	講演テーマ	講師
10:00 ▼ 11:10	<p>「商品力向上のためのパッケージの可能性」</p> <p>ますます進展する高齢化や、環境配慮に対する具体的な取り組みの強化など、わが国の将来を決するような様々な課題が出現しています。</p> <p>このような社会動向の中で、パッケージを通じて課題解決を実現できる取り組みが、既に始まっています。</p> <p>生活者の生活実態に即したパッケージ・ユーザビリティの具現化、医療医薬におけるよりよいパッケージの追求、介護食品における様々な取組みの進展などの事例を通じて、このような動きについてお話ししていきます。</p> <p>また、商品と生活者を繋ぐ最大の接点であるパッケージを基点とする新たな顧客とのコミュニケーションの創造と親密な関係の構築について触れることで、パッケージがもたらす可能性について情報共有していきたいと考えています。</p>	<p>凸版印刷株式会社 生活環境事業本部 生活環境事業部 第五営業本部 ソリューション企画チーム 部長 中井 裕太 氏</p>
11:20 ▼ 12:30	<p>「超高齢化社会に対応したモノづくりの取り組み ～インクルーシブデザインの試み～」</p> <p>日本人の4人に1人が65歳以上という現状の中、年を重ね、経験値は高くなるが体の機能が衰えるなど、生活者の多様性が増す傾向にあります。容器の開けやすさひとつとっても、液シール性だけでなく、様々な方にとってのアフォーダンスとの両立など、従来の発想だけでは解決困難な課題が生じております。花王は、こういった課題を解決する試みとして、商品開発の初期段階から障がい者や高齢者にリードユーザーとして参加していただき、一緒に商品開発を行うことで解決のヒントを掴むインクルーシブデザインに取り組んでいます。今回、その背景と取り組み内容についてお話しいたします。</p>	<p>花王株式会社 アクティブシニア事業センター マネージャー 横須賀 道夫 氏</p>
13:30 ▼ 15:00	<p>「消費者心理および行動に与えるパッケージデザインの影響 ～食品・日用品を中心に～」</p> <p>メーカーの方々は、自分達が品質の良いものを作ると、消費者はその品質に応じて商品に対する満足を感じると思われるようです。しかしながら、私がこれまで行ってきた研究から考えると、このようなことは非常にまれにしか起こりません。初めて商品を買おうとする場合、中身を確かめることが出来る状況はほとんどないため、パッケージや宣伝などで購入を決定します。また、リピート購入でも、多くの場合、消費者は商品を買うときに、パッケージだけでその商品の購入を決定します。これらの事例だけでなく、消費者はパッケージ等の見た目によって、商品に対する評価を決めてさえるのです。</p> <p>今回のお話では、私自身が行った研究を中心に、我々人が「味覚」ではなく、視覚や嗅覚で「味」を判断しているという事例を紹介いたします。さらに、あるコンセプトを元に、実験的に架空のブランドを作った結果、おいしさが劇的に変化した実験を紹介し、パッケージやブランドの効果の大きさについて、お話しいたします。最後に、パッケージ等の情報によって、人がどのくらい容易にその商品に対する評価を変容させるかということについて、具体的な実験例に基づいてお話しいたします。</p>	<p>東北大学 文学研究科 心理学研究室 准教授 坂井 信之 氏</p>
15:10 ▼ 16:40	<p>「食感性モデルによる『おいしさ』と融合した包装容器の ユニバーサルデザイン」</p> <p>「おいしさ」はヒトの五感コミュニケーションにより生じし、ヒット商品は個人または消費者間のコミュニケーションにより創出される。このコンセプトに基づく「食感性工学」は、食素材の機器分析データ、官能評価スコア、さらにはマーケティング情報などをデータベースとして解析することにより、新製品の品質評価と設計、最適製造条件の検索、ブランディング技術の開発、TV-CF製作に至る個別技術を融合する手法を提唱してヒット商品の創出に貢献している。</p> <p>この講演では、ヒット商品となった緑茶飲料製品やマウントレーニア「ダブルエスプレッソ」の開発事例を話題とし、特に包装容器のユニバーサルデザインにブランディング技術を開発して導入するノウハウを紹介する。「伊右衛門」ではペットボトルが香味の「おいしさ」に劇的な好影響を及ぼすが、ヒット商品「お〜いお茶」や「生茶」のペットボトルは、そのデザインよりもブランド力により消費者の感性を刺激する情報媒体としての役割を担っている事が分かった。このことは香味一包装容器—TV—CF—マーケティング等を融合する技術の必要性を示した。</p> <p>「ダブルエスプレッソ」はチルドカップ市場に「エスプレッソ」カテゴリーを創出する目的で開発した。しかし、この香味はストローを介して味わうため、容器としての設計要素が限定された。そこでストローのサイズと色に着目してその機能を分析した結果、ストロー直径によりエスプレッソの最も重要な香味因子である「苦味の強さ」がコントロール可能であることを実証した。</p>	<p>一般社団法人 食感性コミュニケーションズ 代表理事 相良 泰行 氏</p>

講演者ご紹介

●中井 裕太 氏

凸版印刷(株) 生活環境事業本部 生活環境事業部 第五営業本部
ソリューション企画チーム 部長

早稲田大学法学部卒。トッパンアイデアセンター、本社販売推進センターで、マーケティングリサーチ、ビジュアル・マーチャンダイジング、スペース・デザインを経験し、生活事業本部へ。

商品企画、パッケージ企画を手がけると共に、環境エネルギー側面とユーザビリティ側面の追及を通じた新たな価値の創造を目指している。

●坂井 信之 氏

東北大学 文学研究科 心理学研究室 准教授

1998年 大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了(博士(人間科学))

1998年 日本学術振興会特別研究員・科学技術振興事業団特別研究員

2003年 神戸松蔭女子学院大学准教授

2011年 東北大学准教授

著書:「食べることの心理学」(有斐閣選書)「味わいの認知科学(勁草書房)」

●横須賀 道夫 氏

花王(株) アクティブシニア事業センター マネージャー

1959年生まれ。東京都立大学(現 首都大学東京)理学修士。

1985年花王(株)に入社。洗剤用酵素の研究、昆虫生理学研究、住居環境衛生商品の開発研究、生活者研究、環境対応、ユニバーサルデザインなどに従事。現在、継続的に行ってきた生活者研究の知見と、新規分野開拓の経験を基に、高齢化社会で生じる様々な課題への対応について検討中。

●相良 泰行 氏

一般社団法人食感性コミュニケーションズ 代表理事

1972年東京大学大学院農学研究科博士課程在学中に東京大学農学部助手に採用。

講師、助教授を経て2003年教授となり、2009年に退職。(社)食感性コミュニケーションズ設立・代表理事、国際冷凍協会日本代表理事、日本科学未来館主催「おいしく、たべる、の科学展」総合監修。

1988-90年インドネシア国ポゴール農科大学客員教授、2010年同国 Bakrie University 国際理事に就任。現在に至る。農学博士

著書:食の先端科学(朝倉書店)、食感性工学(朝倉書店)、冷凍空調便覧(日本冷凍空調学会)等

開催要領

日 時:平成26年3月7日(金) 10:00~16:40

会 場:ソラシティカンファレンスセンター Room C
東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ

定 員:80名

参加費:会員17,850円(消費税5%、テキスト代含む)

*同時に3名以上でお申し込みの場合には割引価格として
1名 14,700円

一般26,250円(消費税5%、テキスト代含む)

申し込み方法

■下記申込書に必要事項を全て記入の上、FAXにてお申し込みください

協会HPからのお申込みも出来ます。協会HP:<http://www.jpi.or.jp>

■申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします

■開催 1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。申込みされた方がご都合の悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。

(当日、名刺をご提出いただきます)

お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会

パッケージイノベーションセミナー係 担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03(3543)1189/FAX. 03(3543)8970

e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第4回パッケージイノベーションセミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は開催当日、関係者に限り配布する場合があります。

2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

■会場案内

ソラシティカンファレンスセンター Room C

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ

・JR中央線・総武線「御茶ノ水」駅

聖橋口から徒歩1分

・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅

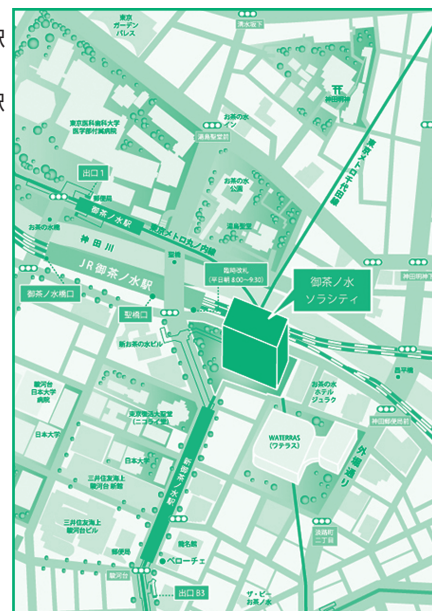
B2出口【直結】

・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅

出口1から徒歩4分

・都営地下鉄新宿線「小川町」駅

B3出口から徒歩6分



第4回パッケージイノベーションセミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内行

FAX.03-3543-8970 No.

会社名					JPI 会員・一般 (どちらかに○をつけて下さい)	
所在地	(〒)					
電 話				FAX		
受講者	氏名			所属役職		
	氏名			所属役職		
	氏名			所属役職		
					e-mail	
					e-mail	
					e-mail	